

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

# まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2015年 秋号 vol.11



▲当院外科チーム一丸でがん治療に取り組みます。

## 特集 がんについて、知ろう、学ぼう

がん診療コーナー 耳鼻科のがん

お知らせ 市民病院フェスタ 2015 を開催しました ほか

もっと知りたい 研修医

連携医の紹介 石川ファミリークリニック

吉村内科

2015.11.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

### 基本理念

安心の優しい医療を提供し、  
市民から信頼される病院を目指します

### 基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

# がんについて、 知ろう、学ぼう

日本がん治療認定医機構認定医

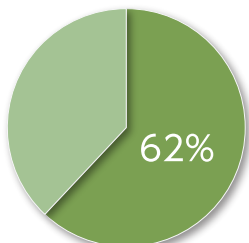
緩和ケアの基本教育のための県指導者研修修了者

副院長（外科） しのはら まさひろ  
篠原 正博

## がんとともに生きる

今、日本は、国民一人ひとり、子どもや高齢者も含めた誰もが、家庭で、職場で、地域で、活躍できるよう、また、将来の夢や希望に向けて取り組むことができる社会を目指しています。それには健康が一番ですが、残念ながら日本国民の2人に1人は一生のうち何らかのがんに罹る時代です。がんとともに生きることも大切なことです。

日本は、がん対策としてがん対策基本法や推進基本計画を制定し、国を挙げてがん対策を行ってきました。下関市立市民病院でも常に最新のがん医療を取り入れ、がん治療に積極的に取り組んできました。



<男性>

62%

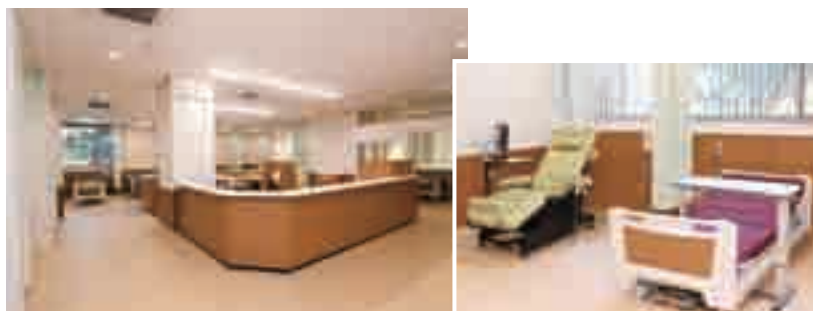
<女性>

46%

生涯でがんにか  
かる確率

## 新館のご紹介

当院新館の1階には、化学療法センターを設置しました。病床のタイプは快適なリクライニングチェアを選ぶこともできます。



▲化学療法センター

平成28年度には、新館の3・4階に緩和ケア病棟（20床）が開設予定です。

3階の病室エリアには、通常の個室や2人室に加え、ご要望に応



## がんについての疑問にお答えします！

**Q** 普段の診察では、がんは判りませんか。なぜ？

**A** よく、毎月診察や血液検査をうけていたのに、なぜもっと早くがんが発見できなかったのかと悩む場面があります。どんな名医でも、視診や触診でがんを診断できません。また、個々のがんで、発見のための検査方法がすべて異なります。

**Q** がんはいつ発生するのでしょうか？

**A** がんの芽は、発見される10年以上も前から出ています。なのになぜ、早期発見が難しいのでしょうか。発癌は、遺伝子レベルでの変化から始まりま

すが、早期癌として発見できるまでには、実は10年以上も掛かっています。しかし現在の医療ではまだ、遺伝子レベルでのがんの発見は不可能なのです。しかも早期癌を見逃すとその数年後で、手遅れのがんになってしまいます。検査のタイミングや発見のチャンスは限られています。

**Q** がん闘い続けなければならぬのでしょうか？

**A** 例えば抗がん剤治療は、がんとの闘いではありません。白血病など、抗がん剤で治る、また治療法が抗がん剤しかない病気がありますので、こういふときは、抗がん剤を武器に闘うべきです。

しかし、多くのがんで行う抗がん剤は、家庭での療養生活と両立できる、生活を守りながら生きて行くためのものです。死闘を繰り返せば、生きて行く気力も無くなってしまいます。

通院治療で可能な抗がん剤も多く、社会生活の支援体制も今は充実しています。

## 当院のがん治療の特徴

がん治療の中心は、手術で切除することです。外科手術では根治を目指すのが基本で、がんの広がりを見極め、できる限り体に負担の少ない低侵襲の内視鏡手術を行っています。手術だけでなく、抗がん剤や放射線治療、疼痛や苦痛に対応する緩和治療など、常に多職種とのチーム連携を行っているのが特徴です。

化学療法センターや緩和ケア病棟も新設され、ますます一貫した質の高いがん治療を目指します。

### ● チーム医療



▲診療科の垣根を越え、患者さまを取り巻く医療スタッフが、一同に介して患者さまの治療について話し合う「カンサーボード」の様子

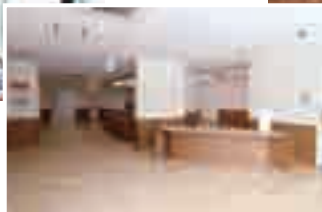
じて特別個室（有料）も準備しています。4階部分には、患者さまやご家族のための休憩室やリラックスルームがあり、ウッドスペースからは下関の景色を楽しむことができます。

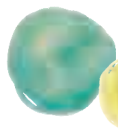


▲ウッドスペース



▲特別個室





## 耳鼻科のがん

耳鼻科では、意外に思われる方が多いですが、実はたくさん種類のがんを診療しています。喉頭がん、咽頭がん、舌がん、上顎がん、外耳道がん、甲状腺がん、耳下腺がん、顎下腺がんなどです。しかし、発生頻度は少なく、耳鼻科のがんはまとめて「頭頸部がん」と呼ばれます。まとめても全がんに占める割合は5%程度です。

このうち喉頭、咽頭、舌、上顎は気道（空気の通り道）か、消化管（食べ物の通り道）、または、その両方に属し、喫煙と飲酒が主な原因になっています。特に喉頭がんは喫煙との関係が深く、喫煙の習慣がある人はない人の20倍ぐらいできやすいといわれています。また、飲酒喫煙の習慣がある人は重複がんといって、たとえば舌と咽頭など同時

に2箇所以上のがんができることがあります。

頭頸部がんのうち「腺」の文字がつかないがんは、ほとんどが扁平上皮がんという同じ種類の細胞から発生したがんになります。放射線治療がよく効く種類のがんです。手術だけで治療しようとすると呼吸や摂食に大きく支障が出る部位ですので、早期であれば「放射線治療」（+抗がん剤）、進行していれば「手術+放射線治療+抗がん剤治療」が行われます。

早期に発見されれば呼吸や摂食の機能を温存したまま根治できる可能性が高くなります。のどや鼻のがんは外からはわかりにくいですが、内視鏡で内側から見ると発見しやす

いがんですので、声がかすれる、食事が飲み込みにくい、鼻やのどからの出血がずっと続いているなどの症状があったらぜひ耳鼻科を受診するようにしてください。

＜耳鼻咽喉科部長 たいら としあき 平 俊明＞



▲内視鏡での診察の様子（耳鼻科外来）

## 「連載エッセイ」

### 透析センター

#### 安全で優しい医療の提供を

透析センターは、医師4名、看護師14名、臨床工学技士5名、看護助手1名で組織しています。

「安全で、質の高い心の通った医療を提供致します」を理念に、血液透析及び腹膜透析をはじめとして、血漿交換など幅広く血液浄化を行っています。日本における透析患者さまは、現在30万人以上ののぼります。これは日本人の500人に1人が透析を受けている計算になります。高齢化社会を背景に、高齢での透析導入が増える傾向にあり、なかには90歳を超えてから透析を始める方もいます。

医師、看護師、臨床工学技士は、専門的知識と技術を用いて、安全で安心できる治療・ケアを提供するとともに、透析を継続していく上で抱えるさまざまな問題に対し、相談、助言、指導、調整を行っています。腹膜透析における訪問看



透析センター師長 松本和美  
より良い透析を求め、毎月1回、全患者さまの症例検討会を行っています。

護ステーションとの連携、患者さまが大切な足を守り、いつまでも自分の足で歩けるようにとフットケア・足回診などセルフケア確立と促進への支援を行っています。また、腎機能の悪い患者さまに、少しでも将来の透析に対する不安を軽減するように腎移植を含めた腎代替療法の説明をしています。医療において、患者さまとの信頼関係は最も大切です。日頃からお互いを尊重し合い、笑顔を絶やさない雰囲気大切にしています。平成27年11月、新館へ移設し、20床から32床にリニューアルしました。患者さまにとって快適性の向上だけでなく、安全で優しい医療の提供を心がけ、なお一層努力していきます。

まず自覚症状がないまま進行するのが、初期の糖尿病の特徴です。健康で血糖値が高い場合は生活習慣を見直す必要があります。また、インスリン治療が必要な1型糖尿病、悪性腫瘍や内分泌疾患が糖尿病の原因となることもあり、定期的な診察、検査が重要です。特に、糖尿病の治療には多職種の医療スタッフの関わりが重要です。日常的な療養生活のサポートを行い、合併症（糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症）などによる、しびれや神経痛、失明、腎不全や透析を必要とする尿毒症（通常は尿によって排泄される尿素や廃棄物が血液中に残存する病気）などの重症化を予防します。

次に甲状腺疾患のバセドウ病、慢性甲状腺炎（橋本病）、甲状腺腫瘍があります。甲状腺疾患の自覚症状として、体重増加、体重減少、全身倦怠感、首の腫脹などがあります。また、甲状腺疾患は女性に多く、甲状腺ホルモンの異常が不妊の原因となることがあります。

最後に下垂体疾患、副腎疾患によるホルモン産生腫瘍、産生低下により日常生活が著しく困難になることもあります。下垂体疾患には公費負担の対象疾患が含まれており、専門的な診察、治療が必要です。副腎疾患が原因で、難治性高血圧症、糖尿病、肥満症などを合併することがあります。

これらの症状がある方や指摘をされた方は、かかりつけ医の先生に相談されるか、または当院を受診して下さい。必要に応じて入院精査を行っています。最後に、医師会の先生方、諸先生方には糖尿病、内分泌疾患などの地域連携を通して、お世話になると思います。よろしくお願いいたします。

【内科・糖尿病内科】医師 <sup>えぐち とおる</sup> 江口 透

平成19年に島根大学を卒業。九州大学病院、大分県立病院で初期研修後、市立宇和島病院勤務。平成27年7月1日、下関市立市民病院に着任。  
主な専門領域は、糖尿病、内分泌、甲状腺、代謝。



## 市民病院フェスタ 2015 を開催しました。

9月26日（土）、市民の皆さまに『学んで体験していただく』参加型イベント「市民病院フェスタ 2015」を開催しました。このイベントは、毎年ご好評いただいている「市民の保健室」と「市民公開講座」を同時開催したもので、当院としては初めての試みです。今年で3回目となる「市民の保健室」には270名以上の方が参加され、各種測定やイベントを楽しんでいただきました。「良い体験をさせてもらった」「また来年も来ます」といったお声もいただき、今年も盛大に開催することができました。

「市民公開講座」では、“隣がんにならない生活と早く見つける方法”と題して、当院の田中雅夫院長による講演会を行いました。こちらも定員を超える申し込みをいただき、改めて市民の皆さまの“がん”に対する関心の高さに驚かされました。

当日は多くの方にお越しいただき、混雑時には大変なご不便をおかけしたことをお詫びするとともに、今後はよりスムーズな運営ができるよう、職員一同さらに精進しますので、これからも「市民病院フェスタ」をよろしくお願いいたします。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



(上) 市民公開講座で講演する田中院長  
(下) 市民の保健室で健康チェック

当院で働く職員を紹介します。

もっと  
知りたい。

研修医



研修医

みとま りょう ひたか たいよう  
三笥良・日高太陽

### 青島市市立医院を視察して

去る9月11日から13日に、私達は友好病院である青島市市立医院の視察に行つて参りました。

青島市はほぼ東京と同緯度に位置し、ドイツ租借地時代の名残を残す赤煉瓦の美しい風光明媚な旧市街を西に、熱気溢れ今尚発展し続けるハイテク産業都市である新市街を東に配する人口770万の中国東部の中心都市であります。

私たちが視察した東院は市内に5つある青島市立医療グループの一つ



▲青島市市立医院とは協定に基づき、友好の促進及び医療技術の発展のため、毎年交流を行っています。

で、病床数1400床、1日の患者数3000人余、医師1300名、看護師600名という20階建ての大病院でした。院内には日本の大  
学病院で見聞きしたことのある科を  
全て備えているだけでなく、中国伝  
統の中医科や院内実験室、更には国  
際都市青島に相応しく韓国語と英語  
に対応した国際問診部もあり、その  
規模の違いにただただ感嘆させられ  
ました。また、院長先生のご縁で特  
に詳しく説明して頂いた肝胆膵外科  
と消化器外科では中国の医療技術の  
高さに驚くとともに、症例数の圧倒

的な多さから今後ますます躍進して  
いくであろうことを確信し、私たち  
日本の若手もより一層奮起しなけれ  
ばと思いを新たにしました。

今回のような場を与えてくださつ  
た青島市市立医院の皆様と彼の地と  
友好病院という橋渡しをして下さつ  
た先達の先生方に感謝します。

※下関市と中国山東省青島市とは、  
昭和54年10月に友好都市の提携を  
し、当院と青島市市立医院とは、平  
成6年10月に友好病院の協定を締結  
しています。

認定看護師  
だより  
Vol.9



認知症看護  
認定看護師

はやし くにあつ  
林 邦厚

認知症は病気です。早期発見、早  
期治療が出来れば症状の進行を遅ら  
せることができます。治療を早期に  
受けることができれば、その人らし  
い生活を長く保つことが出来ます。  
認知症の種類、進行度によって症  
状は異なります。適切な対応を受け  
ることで、穏やかに過ごすことにな  
ります。

認知症の人にとって、病気の苦痛、  
入院による環境の変化、点滴や、安  
静指示などの非日常への対応はとて  
も負担です。ストレスが限界になる  
と、混乱してしまうので、その人の  
個性を考え、何に困っているのか  
を知り、対応することが大切です。

認知症の人が安心して治療を受け  
られるよう、認  
知症の知識を広  
め、看護の質の  
向上に貢献した  
いと考えていま  
す。



# 地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。  
当院と連携医療機関は、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域医療連携室  
電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861



## 石川ファミリークリニック 院長 石川 豊先生

田中雅夫院長先生を始めとして下関市立市民病院の皆様には、看護学校学生の病院実習や講義と学校行事、地域連携の会議や医師会活動、患者さんの紹介など、公私にわたって大変に幅広くお世話になっております。

市民病院（当時は下関市立中央病院）での最初の思い出は、平成元年に父の診療所を継承するために飯塚病院から戻ってきたときに、永田先生から腸重積症整復法の講義を依頼されたことです。

その父も市民病院で亡くなりました。その時父の主治医であった長岡先生には、現在医師会の副会長として大変お世話になっています。専門は小児科なのですが、父の頃から内科も標榜しており、最近介護認定審査員、そして在宅医療も行っていますので、今後ますます公私ともに多岐にわたって皆様のお世話になる機会が増えてくるであろうと思っています。その際にはどうぞよろしくお願いいたします。

〒751-0869 下関市伊倉新町4-2-21 TEL：083-249-5830 <小児、内、アレルギー>  
午前：月～土8:30～12:00、午後：月火水金14:00～18:00、土13:00～16:00

## 吉村内科

院長 吉村 慈郎先生  
吉村 潤子先生



下関市立市民病院の先生方、地域連携室ならびに関係者の皆様方には、日頃より大変お世話になり、感謝申し上げます。

当医院は、1977年5月、父の吉村慈郎が彦島に開業し、地域の皆様の健康を守っております。2015年4月から、私が診療に加わりました。専門の腎臓疾患を通して、循環器、糖尿病、高脂血症等の生活習慣病の治療に携わったことを活かして、病気と前向きに付き合い、新たな疾患を予防する方法を伝えていきたいと思っております。インターネットやテレビのおかげで、病気の情報は大量に手に入る時代です。ただ、病名を検索して最初の方に出てくる情報でさえ、不確かなものが多く、テレビの医療番組が必ずしも正しいことを伝えている訳ではありません。同じ病名でも、治療は一人ひとりの状況に合わせて変更しますし、同じお薬でも、処方理由は違う場合があります。どうしてなの？という疑問があれば、黙って薬や通院を止めたりせずに、かかりつけ医に率直にお尋ねください。

最後に、検尿異常を指摘された場合は、必ず受診をしてください。トイレに流す尿で、病気が解るなんて、とってもお得なことだと思います。（吉村潤子）

〒750-0075 下関市彦島江の浦町1-7-6 TEL：083-267-2681 <内、腎臓内、循環器内>  
月～土：9:00～12:30、14:00～18:00（木・土は午前のみ）※生活習慣病（高血圧、糖尿病）、各種健康診断、禁煙治療

# 外来診療のご案内

2015年11月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		具嶋 正樹/吉田 佳代	山口 敢	具嶋 正樹	山口 敢	吉田 佳代
内科・呼吸器内科						花香 哲也(※)
内科・循環器内科		金子 武生	金子 武生	森山 祥平	辛島 詠士	辛島 詠士
禁煙外来(午前中・予約制)						金子 武生
内科・腎臓内科			坂井 尚二 乙咩 崇臣	吉水 秋子	坂井 尚二 午前:浦江 憲吾/午後:吉村 潤子(※)	前田 大登(※)
内科・血液内科			久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科		真弓 武仁 大田 俊一郎		真弓 武仁 大田 俊一郎	中山 剛志(※)	大田 俊一郎
内科 渡航外来(予約制)		原田 由紀子(午前) 原田 由紀子(午後)				
内科・胆膵外来		五十嵐 久人		五十嵐 久人		
糖尿病内科		江口 透	林田 英一(※)			江口 透
神経内科(午前中・予約制)				本田 真也(※)		
精神科				中津 勇紀(※)		
消化管内視鏡 胃透視		山口 敢	具嶋 正樹/吉田 佳代 具嶋 正樹	山口 敢 吉田 佳代	具嶋 正樹/吉田 佳代	具嶋 正樹 山口 敢
心臓血管外科			上野 安孝/木村 聡		上野 安孝/栗栖 和宏	上野 安孝(予約のみ)
外科	午前	篠原 正博 宮竹 英志	石光 寿幸 中原 千尋	篠原 正博 宮竹 英志	鈴木 宏往	石光 寿幸 吉田 順一/大谷 和広
	午後	院長外来 (院外紹介)	乳腺外来/石光 寿幸	ストーマ外来(第2第4) 篠原 正博(初診のみ)	ストーマ外来(第2第4) 篠原 正博	乳腺外来/石光 寿幸
呼吸器・感染症外来 (呼吸器外科)		吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター (呼吸器外科)			井上 政昭		井上 政昭 名部 裕介	
小児外科		大森 淳子(院外紹介)		大森 淳子 九大派遣医師		
脳神経外科		中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治		中村 隆治/尾中 貞夫
整形外科	再診	白澤 建藏/千住 隆博	渡邊 哲也/嶋 勇一郎	山下 彰久/矢野 良平	原田 岳/橋川 和弘	上原 慎平
	新患	橋川 和弘	千住 隆博	白澤 建藏(紹介状必要) 原田 岳(紹介状必要) 上原 慎平	山下 彰久 矢野 良平	渡邊 哲也 嶋 勇一郎
泌尿科	一診(初診)	吉弘 悟	山内 雅文	吉弘 悟	山内 雅文	吉弘 悟
	二診(予約のみ)	山内 雅文	吉弘 悟	山内 雅文	吉弘 悟	山内 雅文
眼科(午前中)		石村 良嗣(※)			岩本 菜奈子(※)	布 佳久(※)
放射線診断科			箕田 俊文			
放射線治療科		有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前 予約制	小児科 河野 祥二/坂田 恭史	河原 典子(※)	坂田 恭史	河原 典子(※)	東 良紘(※)/坂田 恭史
	アレルギー 心身症	永田 良隆(再診)	永田 良隆(新患)	河野 祥二		永田 良隆(再診)
	午後 予約制	健康・予防接種 アレルギー	河野 祥二/河原 典子(※)		河原 典子(※)/坂田 恭史	
	慢性疾患 心身症 神経			河野 祥二/坂田 恭史		永田 良隆 河野 祥二
産婦人科	午前 一診 二診	前田 博敬 川崎 憲欣(第2・第4のみ)	川崎 憲欣	前田 博敬 川崎 憲欣	前田 博敬 大川 彦宏(※)	川崎 憲欣
	午後	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)
疼痛外来 ペインクリニック内科		藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹
皮膚科		内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科		平 俊明/西山 和郎 西山 和郎	平 俊明/西山 和郎 午後:手術	平 俊明/西山 和郎 午後:手術	平 俊明 西山 和郎	平 俊明/西山 和郎 午後:手術
歯科・歯科口腔外科		入学 陽一 坂口 修(※)第1・第3 河野 通直(※)第2・第4	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一 高橋 理(※)第3以外 笹菜 正明(※)第3のみ	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一 河野 通直(※)第1 宮本 郁也(※)第2・第4 坂口 修(※)第3
緩和ケア外来						今村 秀(※)/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)		中原 千尋/奥村 幹夫	中原 千尋/奥村 幹夫	中原 千尋/奥村 幹夫	中原 千尋/奥村 幹夫	中原 千尋/奥村 幹夫

◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください) ◆緩和ケア外来 第2金曜日休診  
◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)



地方独立行政法人  
**下関市立市民病院**  
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号  
TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838  
ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>  
地域医療連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力お願いします。